

【議案 1】

令和 7 年度 地域公共交通確保維持改善
事業費補助金（地域内フィーダー系統確保
維持費国庫補助金）交付申請について

令和 7 年 1 1 月 日

国土交通大臣 殿

氏名又は名称 猪名川町地域公共交通会議
住 所 兵庫県川辺郡猪名川町
上野字北畑 1 1 - 1
代表者氏名 会長 柳原 崇男

令和 7 年度 地域公共交通確保維持改善事業費補助金(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金) 交付申請書 (案)

令和 7 年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金 (地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金) の交付を関係書類を添えて、下記のとおり申請します。

記

1. 交付を受けようとする補助金の額

○地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

運 行 系 統 数	補 助 金 の 額
2	6, 0 6 5 千円

2. 補助対象期間における損益の実績【地域内フィーダー系統(区域型運行)】

補助対象期間の 損益状況	一般乗合旅客自動車運送事業・自家用有償旅客運送					
	営業収益	3,024 千円	営業外収益	0 千円	経常収益	3,024 千円
	営業費用	13,576 千円	営業外費用	0 千円	経常費用(イ)	13,576 千円
補助対象期間のサービス提供 時間(ロ)	4,834.9 時間				経常損益	▲ 10,552 千円
					経常収支率	22.27 %

運行事業者の事業実績報告書から転記。
実績報告書については、
企業情報を含むため議案
には添付しないこととする。

3. キロ当たり補助対象経常費用

補助ブロック名	補助対象事業者の時間当たり 経常費用 イ÷ロ=ハ	地域時間当たり 標準経常費用 ニ	時間当たり経常費用 ハとニのいずれか少ない額 ホ
京阪神	2,807円.91銭	3,776円.77銭	2,807円.91銭

4. 補助対象系統ごとの国庫補助金申請額、負担者とその負担割合

市区町村	申請 番号	利便 増進 特例 措置 又は 運送 継続 特例 措置	運行 系統名	営業区域	計画運行回数 (イ)	実績運行回数 (ロ)	運休回数 (ハ)	運休回数 のうち12条2 項ただし書 によりやむを 得ないとして 大臣が認め た回数 (ニ)	運行割合 (100%を超える場 合は100%を上限 とする。) (ホ)	サービス提供時間 ヘ	補助ブロック外 乗入部分に係る サービス提供時間 ト	同一補助ブロック 市区町村外乗入 部分に係るサー ビス提供時間 チ	補助ブロック外乗 り入れ部分及び 同一補助ブロッ ク市区町村外乗 り入れ部分以外 のサービス提供 時間の比率 (ヘ-(ト+チ))÷ ヘ=リ
猪名川町	1	-	アヨイフ コいな がわ(阿 古谷・松 尾台地 区)	阿古谷・松 尾台地区	8,204.0 回	6,076.0 回	0.0 回	0.0 回	74.06 %	2,174.1 時間	0.0 時間	0.0 時間	100.000%
	2				回	回	回	回	%	時間	時間	時間	
	3				回	回	回	回	%	時間	時間	時間	
	4				回	回	回	回	%	時間	時間	時間	
	5				回	回	回	回	%	時間	時間	時間	
合計													

市区町村	申請 番号	補助対象 経常費用 ホ×ヘ=ヌ	補助対象系統 の経常収益 ル	補助対象経常 費用から経常 収益を控除した額 ヌ-ル=ヲ	ヲのうち補助ブロック外 乗入部分及び同一補 助ブロック市区町村外 乗入部分以外に係るも の ヲ×リ=ワ	補助対象経費 カ	補助対象経費の1/2 カ×1/2=ヨ	国庫補助 上限額 タ	国庫補助金 申請額 レ
猪名川町	1	6,104,677 円	2,366,320 円	3,738,357 円	3,738,357 円	3,738 千円	1,869 千円	606 千円	606 千円
	2	円	円	円	円	. 千円	. 千円	. 千円	. 千円
	3	円	円	円	円	. 千円	. 千円	. 千円	. 千円
	4	円	円	円	円	. 千円	. 千円	. 千円	. 千円
	5	円	円	円	円	. 千円	. 千円	. 千円	. 千円
合計		6,104,677 円	2,366,320 円	3,738,357 円	3,738,357 円	3,738 千円	1,869 千円	606 千円	606 千円

市区町村	申請 番号	経常費用から 経常収益を控除 した額 ハ×ヘ-ル=ソ	損失額から国庫 補助額を控除し た額 ソーレ=ツ	ツの負担者とその負担割合										
				都道府県		市区町村		その他の者		事業者自己負担		「その他の者」の具 体的概要		
				負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合			
猪名川町	1	3,738,357 円												
	2	円												
	3	円												
	4	円												
	5	円												
合計		3,738,357 円	3,132,357 円	351,000 円	11.2 %	2,781,357 円	88.8 %	円	%	円	%	円	%	

(1) 記載要領

- 1.乗合バス事業の収益、サービス提供時間については、高速バス及び定期観光バス等を除き、費用については、高速バス及び定期観光バス等並びに補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)における補助金交付要綱第2編第1章第3節に係る経常費用を除くこと。
- 2.補助対象事業者の決算期間が補助対象期間と相違している事業者については、補助対象期間の仮決算を行い、その損益状況を損益状況欄に記載すること。
- 3.補助対象期間中の一般乗合旅客自動車運送事業(自家用有償旅客運送)と他の事業を兼業している場合の関連収益及び費用の配分については、原則として、自動車運送事業に係る収益及び費用並びに固定資産の配分基準について(昭和52年5月17日付け自総第338号、自旅第151号、自貨第55号)によること。
- 4.「補助対象期間の損益状況」については、消費税相当額を控除した額を記載すること。
- 5.「補助ブロック名」については、補助金交付要綱別表6の名称を記載すること。
- 6.「地域時間当たり標準経常費用」は、補助ブロックを管轄する地方運輸局等が通知した数値によること。
- 7.時間当たり補助対象経常費用の計算上生じた単位未満の端数は切り捨てること。
- 8.申請番号は、事業者及び系統ごとに一連番号とすること。なお、1系統が2つ以上の補助ブロックにまたがる場合は、その比率に応じ低い方をカッコ書きの番号とすること。
- 9.「利便増進特例措置又は運送継続特例措置」については、地域公共交通利便増進実施計画の認定を受け、地域内フィーダー系統に係る特例措置の適用(別表9)を受けて補助対象となる場合は「利便」と記載し、地域旅客運送サービス継続実施計画の認定を受け、地域内フィーダー系統に係る特例措置の適用(別表10)を受けて補助対象となる場合は「継続」と記載する。
- 10.「計画運行回数」については、大臣に認定された地域公共交通計画に記載された回数を転載すること。
- 11.「実績運行回数」については、補助対象期間中に運行した回数を記載すること。
- 12.「運休回数」については、計画運行回数のうち、補助対象期間中に運休した回数を記載すること。
- 13.「運休回数のうち12条2項ただし書によりやむを得ないとして大臣が認めた回数」については、補助対象期間中に運休した回数のうち、天災その他やむを得ない事情がある場合による回数を記載すること。
- 14.「運行割合」は、小数点第2位(第3位以下切り捨て)まで算出して記載すること。
- 15.「サービス提供時間」、「補助ブロック外乗入部分に係るサービス提供時間」及び「同一補助ブロック市区町村外乗入部分に係るサービス提供時間」は、小数点第1位(第2位以下切り捨て)まで算出すること。
- 16.「同一補助ブロック市区町村外乗入部分に係るサービス提供時間」については、同一補助ブロック内における市区町村外乗入部分のサービス提供時間を記載することとし、補助ブロックが異なる市区町村外乗入部分は(ト)に記載すること。
- 17.「補助ブロック外乗入部分及び市区町村外乗入部分以外のサービス提供時間の比率」は、%以下第3位(小数点第4位切り捨て)まで算出して記載すること。
- 18.「補助対象経常費用」は、円未満の端数を切り捨てること。
- 19.「補助対象系統の経常収益」については、補助対象期間における各補助対象系統の経常収益の実績額を記載すること。
- 20.「補助対象経費」は、(ワ)の金額を記載する(千円未満の端数は切り捨てること)。
- 21.「補助対象経費の1/2」は、系統ごとに百円単位(0.5千円)まで記載することとし、合計の千円未満の端数は切り捨てること。
- 22.「国庫補助上限額」については、市区町村等が当該市区町村等に係る国庫補助上限額のうち、各事業者の系統ごとに按分した額を記載することとし、千円未満の端数は切り捨てること。
- 23.サービス提供時間とは、事業開始時間から事業終了時間までの間をいい、そのうち、待機時間、回送時間、予約受付に係る時間についても含める。ただし、時間外に行われる予約受付に係る時間等については含めない。
- 24.待機時間とは、サービス提供時間のうち、実運行しなかった時間をいう。ただし、休憩時間及びその他事業に従事している時間については含めない。
- 25.回送時間については、乗客が降車した後、帰庫する際の回送運行は実運行時間として差し支えない。ただし、回送運行中(帰庫途中)に乗用事業による配車指示があり、乗用事業の運行を行った場合は、当該回送運行は実運行時間とは認められない。

(2) 添付書類

- 1.補助対象期間に係る旅客自動車運送事業等報告規則第2条第2項の「事業報告書」又は自家用有償旅客運送の損益明細表。
- 2.様式第1-5の運行系統別輸送実績。

事業者名	日の丸ハイヤー株式会社	
運行計画担当部門	(担当部門の名称) 本社営業部	(責任者役職・氏名) 部長 田中 俊幸
補助金担当部門	(担当部門の名称) 本社営業部	(責任者役職・氏名) 部長 田中 俊幸

運行系統別輸送実績(令和7年度)【フィーダー系統】

運行系統						年間輸送実績										経常収益				経常費用	市町村の別	備考	
申請番号	運行形態	運行系統名(乗用タクシーの場合は運行サービス名)	起点	主な経由地	終点	キロ程(km)	運行回数(A)(回)	輸送人員(B)(人)	1運行当たり輸送人員(B)/(A)(人/回)	1人平均乗車キロ(km)	輸送人キロ(人キロ)	実車走行キロ(km)	サービス提供時間(時間)				運送収入(C)(円)	運送雑収(D)(円)	営業外収益(E)(円)	計(C)+(D)+(E)	1系統当たり経常費用(乗用タクシーの場合は運行サービス当たりの経常費用)		
													実運行時間	待機時間	回送時間	予約受付時間							
1	区域型	阿古谷・松尾台地区		阿古谷・松尾台地区		往 km 復 km	6,076.0	9,271	1.5		0.0	2,175.1	1,095.8	294.0	785.3	0.0	2,366,320	0	0	2,366,320	6,104,677	猪名川町	
						往 km 復 km			#DIV/0!		0.0	0.0								0			
						往 km 復 km			#DIV/0!		0.0	0.0								0			
						往 km 復 km			#DIV/0!		0.0	0.0								0			
合計							6,076.0	9,271			0.0	2,175.1	1,095.8	294.0	785.3	0.0	2,366,320	0	0	2,366,320	6,104,677		

【記載要領】

- この書類は、補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)の実績について、補助対象期間の末日現在における状態に応じて、運行系統(乗用タクシーの場合は運行サービス)ごとに作成すること。(補助対象系統のみ記載すること。)
- 申請番号は、地域公共交通計画認定申請書の申請番号と同一のものとする。
- 運行形態は、路線定期運行、路線不定期運行、区域型運行、乗用タクシーの別を記載すること。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載し、キロ程は小数点第1位(第2位以下切り捨て)まで記載すること。
- 運行回数は、補助対象期間における合計運行回数を記載すること。なお、路線型運行においては1往復を運行回数1回(往路若しくは復路のみの場合は、0.5回とする。)、区域型運行及び乗用タクシーによる運行においては1運行(片道)を運行回数1回、循環系統においては1循環で運行回数1回とする。
- 1運行当たり輸送人員は、小数点第1位(第2位以下切り捨て)まで算出すること。
- 実車走行キロ及びサービス提供時間は、小数点第1位(第2位以下切り捨て)まで算出して記載すること。
- 1系統当たり経常費用は、路線型にあっては事業者の実車走行キロ当たり経常費用に当該系統の実車走行キロを乗じたもの、デマンド型及び乗用タクシーによる運行にあっては運送実施者のサービス提供時間当たり経常費用に当該系統(乗用タクシーの場合は運行サービスの)のサービス提供時間を乗じたものとする。
- 備考欄には、補助対象期間中にスト及び積雪等の理由によりバスが運行されなかった期間があった場合等、特記すべき事項について、変更年月日又は期間及びその内容を記載すること。
- 各運行系統のキロ程、運行回数、輸送人員、輸送人キロ、実車走行キロ、サービス提供時間、運送収入、運送雑収及び営業外収益の欄については必ず記載すること。(乗用タクシーによる運行の場合は、キロ程、実車走行キロは記載不要。)

令和7年度事業

自治体名 猪名川町

系統番号 系統名 杉生線

年度合計	(参考)計画運行日数	365日
	計画運行回数	2422.5回
	実績運行回数	2420.回
	運休回数	2.5回
	やむを得ない運休回数(内数)	2.5回

R6年10月

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
計画運行回数		1	2	3	4	5	6
実績運行回数		7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
運休回数		7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
やむを得ない運休回数(内数)							
計画運行回数	7	8	9	10	11	12	13
実績運行回数	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
運休回数	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
やむを得ない運休回数(内数)							
計画運行回数	14	15	16	17	18	19	20
実績運行回数	5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
運休回数	5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
やむを得ない運休回数(内数)							
計画運行回数	21	22	23	24	25	26	27
実績運行回数	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
運休回数	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
やむを得ない運休回数(内数)							
計画運行回数	28	29	30	31			
実績運行回数	7.5	7.5	7.5	7.5			
運休回数	7.5	7.5	7.5	7.5			
やむを得ない運休回数(内数)							

R6年11月

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
計画運行回数					1	2	3
実績運行回数					7.5	5	5
運休回数					7.5	5	5
やむを得ない運休回数(内数)							
計画運行回数	4	5	6	7	8	9	10
実績運行回数	5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
運休回数	5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
やむを得ない運休回数(内数)							
計画運行回数	11	12	13	14	15	16	17
実績運行回数	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
運休回数	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
やむを得ない運休回数(内数)							
計画運行回数	18	19	20	21	22	23	24
実績運行回数	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
運休回数	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
やむを得ない運休回数(内数)							
計画運行回数	25	26	27	28	29	30	
実績運行回数	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	
運休回数	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	
やむを得ない運休回数(内数)							

10月

(参考)計画運行日数	31日
計画運行回数	210.回
実績運行回数	210.回
運休回数	0.回
やむを得ない運休回数(内数)	0.回

11月

(参考)計画運行日数	30日
計画運行回数	200.回
実績運行回数	200.回
運休回数	0.回
やむを得ない運休回数(内数)	0.回

R6年12月

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
計画運行回数							1
実績運行回数							5
運休回数							5
やむを得ない運休回数(内数)							
計画運行回数	2	3	4	5	6	7	8
実績運行回数	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
運休回数	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
やむを得ない運休回数(内数)							
計画運行回数	9	10	11	12	13	14	15
実績運行回数	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
運休回数	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
やむを得ない運休回数(内数)							
計画運行回数	16	17	18	19	20	21	22
実績運行回数	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
運休回数	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
やむを得ない運休回数(内数)							
計画運行回数	23	24	25	26	27	28	29
実績運行回数	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
運休回数	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
やむを得ない運休回数(内数)							
計画運行回数	30	31					
実績運行回数	5	5					
運休回数	5	5					
やむを得ない運休回数(内数)							

R7年1月

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
計画運行回数			1	2	3	4	5
実績運行回数			5	5	5	5	5
運休回数			5	5	5	5	5
やむを得ない運休回数(内数)							
計画運行回数	6	7	8	9	10	11	12
実績運行回数	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
運休回数	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
やむを得ない運休回数(内数)							
計画運行回数	13	14	15	16	17	18	19
実績運行回数	5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
運休回数	5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
やむを得ない運休回数(内数)							
計画運行回数	20	21	22	23	24	25	26
実績運行回数	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
運休回数	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
やむを得ない運休回数(内数)							
計画運行回数	27	28	29	30	31		
実績運行回数	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5		
運休回数	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5		
やむを得ない運休回数(内数)							

12月

(参考)計画運行日数	31日
計画運行回数	205.回
実績運行回数	205.回
運休回数	0.回
やむを得ない運休回数(内数)	0.回

1月

(参考)計画運行日数	31日
計画運行回数	202.5回
実績運行回数	202.5回
運休回数	0.回
やむを得ない運休回数(内数)	0.回

R7年2月

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
計画運行回数						1	2
実績運行回数						5	5
運休回数						5	5
やむを得ない運休回数(内数)							
計画運行回数	3	4	5	6	7	8	9
実績運行回数	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
運休回数	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
やむを得ない運休回数(内数)							
計画運行回数	10	11	12	13	14	15	16
実績運行回数	7.5	5	7.5	7.5	7.5	5	5
運休回数	7.5	5	7.5	7.5	7.5	5	5
やむを得ない運休回数(内数)							
計画運行回数	17	18	19	20	21	22	23
実績運行回数	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
運休回数	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
やむを得ない運休回数(内数)							
計画運行回数	24	25	26	27	28		
実績運行回数	5	7.5	7.5	7.5	7.5		
運休回数	5	7.5	7.5	7.5	2.5		
やむを得ない運休回数(内数)					2.5		
計画運行回数							
実績運行回数							
運休回数							
やむを得ない運休回数(内数)							

R7年3月

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
計画運行回数						1	2
実績運行回数						5	5
運休回数						5	5
やむを得ない運休回数(内数)							
計画運行回数	3	4	5	6	7	8	9
実績運行回数	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
運休回数	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
やむを得ない運休回数(内数)							
計画運行回数	10	11	12	13	14	15	16
実績運行回数	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
運休回数	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
やむを得ない運休回数(内数)							
計画運行回数	17	18	19	20	21	22	23
実績運行回数	7.5	7.5	7.5	5	7.5	5	5
運休回数	7.5	7.5	7.5	5	7.5	5	5
やむを得ない運休回数(内数)							
計画運行回数	24	25	26	27	28	29	30
実績運行回数	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
運休回数	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
やむを得ない運休回数(内数)							
計画運行回数	31						
実績運行回数	7.5						
運休回数	7.5						
やむを得ない運休回数(内数)							

2月

(参考)計画運行日数	28日
計画運行回数	185.回
実績運行回数	182.5回
運休回数	2.5回
やむを得ない運休回数(内数)	2.5回

3月

(参考)計画運行日数	31日
計画運行回数	205.回
実績運行回数	205.回
運休回数	0.回
やむを得ない運休回数(内数)	0.回

2. 補助対象期間における損益の実績【地域内フィーダー系統(路線型(路線定期・路線不定期)運行)】

補助対象期間の損益状況	一般乗合旅客自動車運送事業・自家用有償旅客運送						
	営業収益	15,131,861 千円	営業外収益	1,137,599 千円	経常収益	16,269,460 千円	
	営業費用	15,396,399 千円	営業外費用	71,457 千円	経常費用(イ)	15,467,856 千円	
補助対象期間の実車走行キロ(ロ)	21,759,540.0 km	営業損益	▲264,538 千円	営業外損益	1,066,142 千円	経常損益	801,604 千円
				経常収支率	105.18 %		

運行事業者の事業実績報告書から転記。
実績報告書については、企業情報を含むため議案には添付しないこととする。

3. キロ当たり補助対象経常費用

補助ブロック名	補助対象事業者の実車走行キロ当たり経常費用 イ÷ロ=ハ	地域キロ当たり標準経常費用 ニ	キロ当たり経常費用 ハとニのいずれか少ない額 ホ
京阪神	710円.85銭	558円.96銭	558円.96銭

4. 補助対象系統ごとの国庫補助金申請額、負担者とその負担割合

市区町村	申請番号	利便増進特例措置又は運送継続特例措置	運行系統名	運行系統			計画運行回数(イ)	実績運行回数(ロ)	運休回数(ハ)	運休回数のうち12条2項ただし書によりやむを得ないとして大臣が認めた回数(ニ)	運行割合(100%を超える場合は100%を上限とする。)(ホ)	系統キロ程 ヘ	補助ブロック外乗入部分のキロ程 ト	同一補助ブロック市区町村外乗入部分のキロ程 チ	補助ブロック外乗入れ部分及び同一補助ブロック市区町村外乗入れ部分以外のキロ程の比率 (ヘ-(ト+チ))÷ヘ=リ
				起点	主な経由地	終点									
猪名川町	1	継続	杉生線	柏原	杉生	日生中央	2,422.5 回	2,420.0 回	2.5 回	2.5 回	100.00 %	往 18.1km 復 17.8km	往 0.0km 復 0.0km	往 0.0km 復 0.0km	100.000%
	2						回	回	回	回	%	往 0.0km 復 0.0km	往 0.0km 復 0.0km	往 0.0km 復 0.0km	
	3						回	回	回	回	%	往 0.0km 復 0.0km	往 0.0km 復 0.0km	往 0.0km 復 0.0km	
	4						回	回	回	回	%	往 0.0km 復 0.0km	往 0.0km 復 0.0km	往 0.0km 復 0.0km	
	5						回	回	回	回	%	往 0.0km 復 0.0km	往 0.0km 復 0.0km	往 0.0km 復 0.0km	
合計															

市区町村	申請番号	実車走行キロ ヌ	補助対象経常費用 ホ×ヌ=ル	補助対象系統の経常収益 ヲ	補助対象経常費用から経常収益を控除した額 ルーラ=ワ	ワのうち補助ブロック外乗入部分及び同一補助ブロック市区町村外乗入部分以外に係るもの ワ×リ=カ	補助対象経費 ヨ	補助対象経費の1/2 ヨ×1/2=タ	国庫補助上限額 レ	国庫補助金申請額 ソ
猪名川町	1	86,826.0 km	48,532,260 円	13,106,888 円	35,425,372 円	35,425,372 円	35,425 千円	17,712.5 千円	5,459 千円	5,459 千円
	2	km	円	円	円	円	. 千円	. 千円	. 千円	. 千円
	3	km	円	円	円	円	. 千円	. 千円	. 千円	. 千円
	4	km	円	円	円	円	. 千円	. 千円	. 千円	. 千円
	5	km	円	円	円	円	. 千円	. 千円	. 千円	. 千円
合計		86,826.0 km	48,532,260 円	13,106,888 円	35,425,372 円	35,425,372 円	35,425 千円	17,712 千円	5,459 千円	5,459 千円

市区町村	申請番号	経常費用から経常収益を控除した額 ハ×ヌ-ラ=ツ	損失額から国庫補助額を控除した額 ツー=ネ	ネの負担者とその負担割合											
				都道府県		市区町村		その他の者		事業者自己負担		「その他の者」の具体的概要			
				負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合				
猪名川町	1	48,613,374 円													
	2	円													
	3	円													
	4	円													
	5	円													
合計		48,613,374 円	43,154,374 円	円	%	29,541,000 円	68.5 %	円	%	13,613,374 円	31.5 %				

(1) 記載要領

- 1.乗合バス事業の収益、実車走行キロについては、高速バス及び定期観光バス等を除き、費用については、高速バス及び定期観光バス等並びに補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)における補助金交付要綱第2編第1章第3節に係る経常費用を除くこと。
- 2.補助対象事業者の決算期間が補助対象期間と相違している事業者については、補助対象期間の仮決算を行い、その損益状況を損益状況欄に記載すること。
- 3.補助対象期間中の一般乗合旅客自動車運送事業(自家用有償旅客運送)と他の事業を兼業している場合の関連収益及び費用の配分については、原則として、自動車運送事業に係る収益及び費用並びに固定資産の配分基準について(昭和52年5月17日付け自総第338号、自旅第151号、自貨第55号)によること。
- 4.「補助対象期間の損益状況」については、消費税相当額を控除した額を記載すること。
- 5.「補助ブロック名」は、補助金交付要綱別表6の名称を記載すること。
- 6.「地域キロ当たり標準経常費用」は、補助ブロックを管轄する地方運輸局等が通知した数値によること。
- 7.キロ当たり補助対象経常費用の計算上生じた単位未満の端数は切り捨てること。
- 8.申請番号は、事業者及び系統ごとに一連番号とすること。なお、1系統が2つ以上の補助ブロックにまたがる場合は、その比率に応じ低い方をカッコ書きの番号とすること。
- 9.「利便増進特例措置又は運送継続特例措置」については、地域公共交通利便増進実施計画の認定を受け、地域内フィーダー系統に係る特例措置の適用(別表9)を受けて補助対象となる場合は「利便」と記載し、地域旅客運送サービス継続実施計画の認定を受け、地域内フィーダー系統に係る特例措置の適用(別表10)を受けて補助対象となる場合は「継続」と記載する。
- 10.「計画運行回数」については、大臣に認定された地域公共交通計画に記載された回数を転載すること。
- 11.「実績運行回数」については、補助対象期間中に運行した回数を記載すること。
- 12.「運休回数」については、計画運行回数のうち、補助対象期間中に運休した回数を記載すること。
- 13.「運休回数のうち12条2項ただし書によりやむを得ないとして大臣が認めた回数」については、補助対象期間中に運休した回数のうち、天災その他やむを得ない事情がある場合による回数を記載すること。
- 14.「運行割合」は、小数点第2位(第3位以下切り捨て)まで算出して記載すること。
- 15.「系統キロ程」、「補助ブロック外乗入部分のキロ程」及び「市区町村外乗入部分のキロ程」は、小数点第1位(第2位以下切り捨て)まで算出すること。なお、循環系統の場合には、往又は復のどちらかの欄にキロ程を記載し、もう片方の欄に「循環」と記載すること。
- 16.「同一補助ブロック市区町村外乗入部分のキロ程」については、同一補助ブロック内における市区町村外乗入部分のキロ程を記載することとし、補助ブロックが異なる市区町村外乗入部分は(ト)欄に記載すること。
- 17.「補助ブロック外乗り入れ部分及び同一補助ブロック市区町村外乗り入れ部分以外のキロ程の比率」は、%以下第3位(小数点第4位切り捨て)まで算出して記載すること。
- 18.「実車走行キロ」は、小数点第1位(第2位以下切り捨て)まで算出して記載すること。
- 19.「補助対象経常費用」は、円未満の端数を切り捨てること。
- 20.「補助対象系統の経常収益」については、補助対象期間における各補助対象系統の経常収益の実績額を記載すること。
- 21.「補助対象経費」については、(カ)の金額を記載する(千円未満の端数は切り捨てること)。
- 22.「補助対象経費の1/2」については、系統ごとに百円単位(0.5千円)まで記載することとし、合計の千円未満の端数は切り捨てること。
- 23.「国庫補助上限額」については、市区町村等が当該市区町村等に係る国庫補助上限額のうち、各事業者の系統ごとに按分した額を記載することとし、千円未満の端数は切り捨てること。

(2) 添付書類

- 1.補助対象期間に係る旅客自動車運送事業等報告規則第2条第2項の「事業報告書」又は自家用有償旅客運送の損益明細表。
- 2.様式第1-5の運行系統別輸送実績。

事業者名	阪急バス株式会社	
運行計画担当部門	(担当部門の名称)	(責任者役職・氏名)
	自動車事業本部 営業企画部 計画課	課長 田中 祥敬
補助金担当部門	(担当部門の名称)	(責任者役職・氏名)
	自動車事業本部 営業企画部 計画課	課長 田中 祥敬

運行系統別輸送実績(令和7年度)【フィーダー系統】

運行系統					年間輸送実績										経常収益			経常費用	市町村の別	備考			
申請番号	運行形態	運行系統名(乗用タクシーの場合は運行サービス名)	起点	主な経由地	終点	キロ程(km)	運行回数(A)(回)	輸送人員(B)(人)	1運行当たり輸送人員(B)/(A)(人/回)	1人平均乗車キロ(km)	輸送人キロ(人キロ)	実車走行キロ(km)	サービス提供時間(時間)				運送収入(C)(円)	営業外収益(E)(円)	計(C)+(D)+(E)	1系統当たり経常費用(乗用タクシーの場合は運行サービス当たりの経常費用)			
													実運行時間	待機時間	回送時間	予約受付時間							
1	路線定期	杉生線	柏原	杉生	日生中央	往18.1km 復17.8km	2,420.0	44,134	18.2	1.9	83,854.6	86,826.0	0.0					13,106,888	0	13,106,888	48,532,260	猪名川町	
						往 km 復 km			#DIV/0!		0.0		0.0							0			
						往 km 復 km			#DIV/0!		0.0		0.0							0			
						往 km 復 km			#DIV/0!		0.0		0.0							0			
合計							2,420.0	44,134			83,854.6	86,826.0	0.0	0.0	0.0	0.0		13,106,888	0	13,106,888	48,532,260		

【記載要領】

- この書類は、補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)の実績について、補助対象期間の末日現在における状態に応じて、運行系統(乗用タクシーの場合は運行サービス)ごとに作成すること。(補助対象系統のみ記載すること。)
- 申請番号は、地域公共交通計画認定申請書の申請番号と同一のものとする。
- 運行形態は、路線定期運行、路線不定期運行、区域型運行、乗用タクシーの別を記載すること。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載し、キロ程は小数点第1位(第2位以下切り捨て)まで記載すること。
- 運行回数は、補助対象期間における合計運行回数を記載すること。なお、路線型運行においては1往復を運行回数1回(往路若しくは復路のみの場合は、0.5回とする。)、区域型運行及び乗用タクシーによる運行においては1運行(片道)を運行回数1回、循環系統においては1循環で運行回数1回とする。
- 1運行当たり輸送人員は、小数点第1位(第2位以下切り捨て)まで算出すること。
- 実車走行キロ及びサービス提供時間は、小数点第1位(第2位以下切り捨て)まで算出して記載すること。
- 1系統当たり経常費用は、路線型にあっては事業者の実車走行キロ当たり経常費用に当該系統の実車走行キロを乗じたもの、デマンド型及び乗用タクシーによる運行にあっては運送実施者のサービス提供時間当たり経常費用に当該系統(乗用タクシーの場合は運行サービス)のサービス提供時間を乗じたものとする。
- 備考欄には、補助対象期間中にスト及び積雪等の理由によりバスが運行されなかった期間があった場合等、特記すべき事項について、変更年月日又は期間及びその内容を記載すること。
- 各運行系統のキロ程、運行回数、輸送人員、輸送人キロ、実車走行キロ、サービス提供時間、運送収入、運送雑収及び営業外収益の欄については必ず記載すること。(乗用タクシーによる運行の場合は、キロ程、実車走行キロは記載不要。)

令和7年度事業

自治体名 猪名川町

系統番号 系統名 杉生線

年度合計	(参考)計画運行日数	365日
	計画運行回数	2422.5回
	実績運行回数	2420.回
	運休回数	2.5回
	やむを得ない運休回数(内数)	2.5回

R6年10月

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
計画運行回数		1	2	3	4	5	6
実績運行回数		7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
運休回数		7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
やむを得ない運休回数(内数)							
計画運行回数	7	8	9	10	11	12	13
実績運行回数	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
運休回数	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
やむを得ない運休回数(内数)							
計画運行回数	14	15	16	17	18	19	20
実績運行回数	5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
運休回数	5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
やむを得ない運休回数(内数)							
計画運行回数	21	22	23	24	25	26	27
実績運行回数	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
運休回数	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
やむを得ない運休回数(内数)							
計画運行回数	28	29	30	31			
実績運行回数	7.5	7.5	7.5	7.5			
運休回数	7.5	7.5	7.5	7.5			
やむを得ない運休回数(内数)							

R6年11月

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
計画運行回数					1	2	3
実績運行回数					7.5	5	5
運休回数					7.5	5	5
やむを得ない運休回数(内数)							
計画運行回数	4	5	6	7	8	9	10
実績運行回数	5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
運休回数	5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
やむを得ない運休回数(内数)							
計画運行回数	11	12	13	14	15	16	17
実績運行回数	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
運休回数	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
やむを得ない運休回数(内数)							
計画運行回数	18	19	20	21	22	23	24
実績運行回数	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
運休回数	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
やむを得ない運休回数(内数)							
計画運行回数	25	26	27	28	29	30	
実績運行回数	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	
運休回数	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	
やむを得ない運休回数(内数)							

10月

(参考)計画運行日数	31日
計画運行回数	210.回
実績運行回数	210.回
運休回数	0.回
やむを得ない運休回数(内数)	0.回

11月

(参考)計画運行日数	30日
計画運行回数	200.回
実績運行回数	200.回
運休回数	0.回
やむを得ない運休回数(内数)	0.回

R6年12月

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
計画運行回数							1
実績運行回数							5
運休回数							5
やむを得ない運休回数(内数)							
計画運行回数	2	3	4	5	6	7	8
実績運行回数	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
運休回数	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
やむを得ない運休回数(内数)							
計画運行回数	9	10	11	12	13	14	15
実績運行回数	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
運休回数	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
やむを得ない運休回数(内数)							
計画運行回数	16	17	18	19	20	21	22
実績運行回数	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
運休回数	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
やむを得ない運休回数(内数)							
計画運行回数	23	24	25	26	27	28	29
実績運行回数	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
運休回数	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
やむを得ない運休回数(内数)							
計画運行回数	30	31					
実績運行回数	5	5					
運休回数	5	5					
やむを得ない運休回数(内数)							

R7年1月

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
計画運行回数			1	2	3	4	5
実績運行回数			5	5	5	5	5
運休回数			5	5	5	5	5
やむを得ない運休回数(内数)							
計画運行回数	6	7	8	9	10	11	12
実績運行回数	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
運休回数	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
やむを得ない運休回数(内数)							
計画運行回数	13	14	15	16	17	18	19
実績運行回数	5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
運休回数	5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
やむを得ない運休回数(内数)							
計画運行回数	20	21	22	23	24	25	26
実績運行回数	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
運休回数	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
やむを得ない運休回数(内数)							
計画運行回数	27	28	29	30	31		
実績運行回数	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5		
運休回数	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5		
やむを得ない運休回数(内数)							

12月

(参考)計画運行日数	31日
計画運行回数	205.回
実績運行回数	205.回
運休回数	0.回
やむを得ない運休回数(内数)	0.回

1月

(参考)計画運行日数	31日
計画運行回数	202.5回
実績運行回数	202.5回
運休回数	0.回
やむを得ない運休回数(内数)	0.回

R7年2月

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
計画運行回数						1	2
実績運行回数						5	5
運休回数						5	5
やむを得ない運休回数(内数)							
計画運行回数	3	4	5	6	7	8	9
実績運行回数	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
運休回数	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
やむを得ない運休回数(内数)							
計画運行回数	10	11	12	13	14	15	16
実績運行回数	7.5	5	7.5	7.5	7.5	5	5
運休回数	7.5	5	7.5	7.5	7.5	5	5
やむを得ない運休回数(内数)							
計画運行回数	17	18	19	20	21	22	23
実績運行回数	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
運休回数	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
やむを得ない運休回数(内数)							
計画運行回数	24	25	26	27	28		
実績運行回数	5	7.5	7.5	7.5	7.5		
運休回数	5	7.5	7.5	7.5	2.5		
やむを得ない運休回数(内数)					2.5		
計画運行回数							
実績運行回数							
運休回数							
やむを得ない運休回数(内数)							

R7年3月

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
計画運行回数						1	2
実績運行回数						5	5
運休回数						5	5
やむを得ない運休回数(内数)							
計画運行回数	3	4	5	6	7	8	9
実績運行回数	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
運休回数	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
やむを得ない運休回数(内数)							
計画運行回数	10	11	12	13	14	15	16
実績運行回数	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
運休回数	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
やむを得ない運休回数(内数)							
計画運行回数	17	18	19	20	21	22	23
実績運行回数	7.5	7.5	7.5	5	7.5	5	5
運休回数	7.5	7.5	7.5	5	7.5	5	5
やむを得ない運休回数(内数)							
計画運行回数	24	25	26	27	28	29	30
実績運行回数	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
運休回数	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	5	5
やむを得ない運休回数(内数)							
計画運行回数	31						
実績運行回数	7.5						
運休回数	7.5						
やむを得ない運休回数(内数)							

2月

(参考)計画運行日数	28日
計画運行回数	185.回
実績運行回数	182.5回
運休回数	2.5回
やむを得ない運休回数(内数)	2.5回

3月

(参考)計画運行日数	31日
計画運行回数	205.回
実績運行回数	205.回
運休回数	0.回
やむを得ない運休回数(内数)	0.回

